

現状把握シート

学校の教育目標

本シートを活用して、自校の生徒の実態を把握するとともに、学校の教育目標（目指す生徒の姿）を実現するために生徒に身に付けさせたい資質・能力について考えていく。

- ①学校の教育目標を記入する。
- ②現在の生徒の実態について記入する。
- ③現在の生徒の実態から、生徒の強みと弱みに分ける。
- ④学校の教育目標（目指す生徒の姿）を実現するために、生徒に身に付けさせたい資質・能力を記入する。

目指す生徒の姿

生徒の強み

現在の生徒の実態

生徒の弱み

全教職員で生徒の実態を把握し，共通理解する

生徒に身に付けさせたい資質・能力

重点目標を具現化した生徒の姿

SWOT分析シート

外部環境把握

外部環境要因	客観的な特徴や事実	プラス要因として はたらく場合	マイナス要因として はたらく場合

内部環境把握

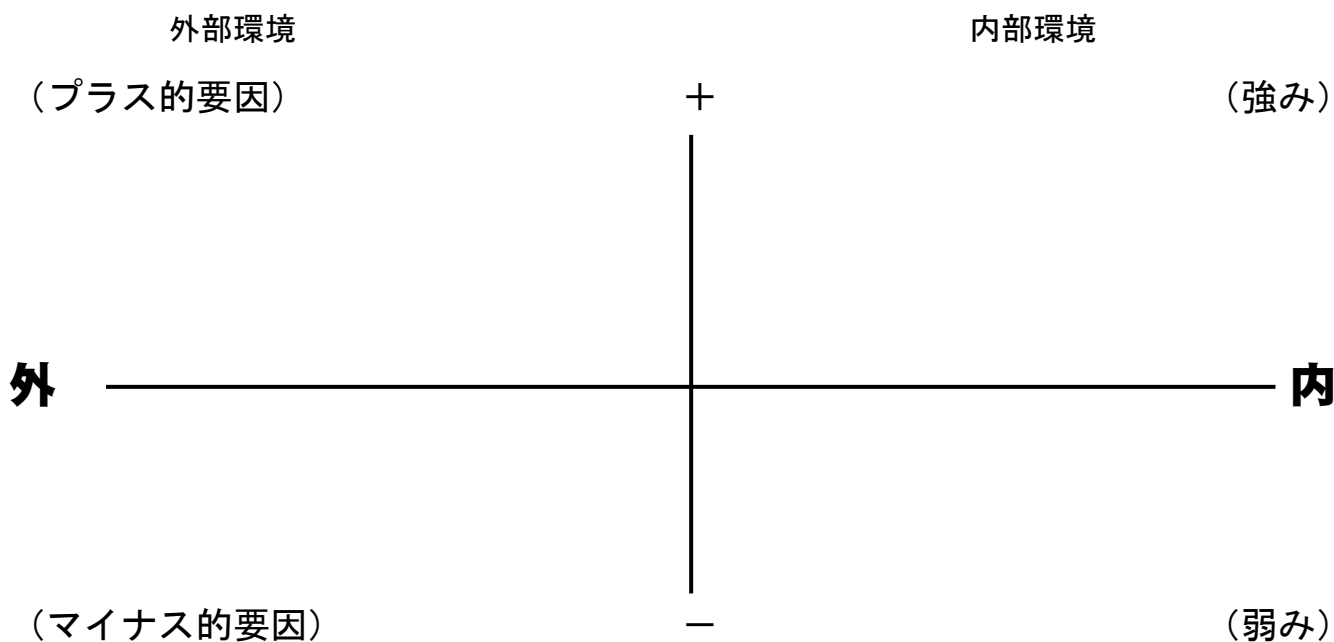
内部環境要因	客観的な特徴や事実	強みとして はたらく場合	弱みとして はたらく場合

自校の内外環境まとめ

学校の教育目標

自校の生徒に身に付けさせたい資質・能力

自校における内外環境の要因配置



SWOT分析の取組方については、「学校組織マネジメント研修～すべての教職員のために～(モデル・カリキュラム) (平成17年2月 発行) マネジメント研修カリキュラム等開発会議」をご覧ください。

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kenshu/05031101/001.pdf

【別紙3 「総合的な探究の時間」全体計画シート】

〇〇高等学校 「総合的な探究の時間」 全体計画

第1の目標	各学校における教育目標
<p>探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。</p> <p>(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。</p> <p>(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。</p>	



各学校において定める 目標



各学校において定める 内容	
目標を実現するにふさわしい 探究課題	探究課題の解決を通して育成を目指す 具体的な資質・能力
	知識及び技能
	思考力、判断力、表現力等
	学びに向かう力、人間性等



教科・科目を越えた全ての学習の基盤となる資質・能力	
情報活用能力	言語能力

【別紙4 探究活動（単元）ごとの指導と評価の計画シート】

探究活動（単元）ごとの指導と評価の計画シート

科目名	総合的な探究の時間	学年類型	○年	単位数	○単位	1校時時間	○○分
単元名	○○○○					予定時間	○時間
単元の観点ごとの評価規準							
知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度			

小単元名 (時数)	ねらい・学習活動	学習状況の観点			評価方法
		知 技	思判表	主 態	

【別紙5 探究活動（単元）ごとの評価ルーブリック】

総合的な探究の時間 探究活動（単元）ごとの評価ルーブリック

____年 ____組 ____番 氏名 _____

単元名と単元の目標

単元名	

観点別学習の状況の評価規準

評価の観点	A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)	備考
知識・技能				
思考・判断・表現				
主体的に学習に取り組む態度				

単元の振り返り

--

総合的な探究の時間 探究活動（単元）ごとの評価ルーブリック（記載例）

単元名と単元の目標

単元名	町民の健康寿命を延ばす
<p>探究活動（単元）のまとめ（地域学習、修学旅行など）としてその単元での目標を記入します。このとき、三つの観点別学習状況の評価が盛り込まれていることに留意して記載します。</p> <p><u>町民の健康や福祉を向上するための活動を通して、様々な人や組織が関わって成り立っていることや、持続可能な取組を創造していくことの意義や価値について理解するとともに、健康寿命を延ばすための方策を科学的根拠に基づいて考察し、自他を尊重する態度をもちながら様々な世代が健康に暮らす社会を共に実現しよう</u>と行動できるようにする。</p>	

観点別学習の状況

評価の観点	探究活動（単元）ごとの目標から評価規準をつくり、その評価規準を基にして基準（達成度）を考えます。3段階で作成すると作成しやすく、評価もしやすいと思います。なお、三つの観点別学習状況の評価が見取れるように設定します。		備考
知識・技能	町民の健康や福祉の向上のために様々な人や組織が関わっていること、高齢者も活躍できる社会の実現に向けては持続可能な取組を共に創造していくことなど <u>複数の視点で大切なことを理解している。</u>	町民の健康や福祉の向上のために様々な人や組織が関わっていること、高齢者も活躍できる社会の実現に向けては持続可能な取組を共に創造していくことなどのうち大切なことを <u>一つ理解している。</u>	評価規準町民の健康や福祉の向上のために様々な人や組織が関わっていること、高齢者も活躍できる社会の実現に向けては持続可能な取組を共に創造していくことなど大切なことの <u>理解が不十分</u> である。
思考・判断・表現	統計や先行研究、町民を対象にした調査結果をもとに、自分たちにできる高齢者の健康寿命促進の取組を検討し、 <u>実施効果に着目して、取組内容を</u> 決めている。	統計や先行研究、町民を対象にした調査結果をもとに、自分たちにできる高齢者の健康寿命促進の取組を検討し、取組内容を決めている。	統計や先行研究、町民を対象にした調査結果をもとに、自分たちにできる高齢者の健康寿命促進の取組内容を <u>決めることが不十分</u> である。
主体的に学習に取り組む態度	<u>生徒自ら</u> 行政や医療職、介護施設職員等と協働して町民の健康寿命の向上に取り組もうとしている。	行政や医療職、介護施設職員等と協働して町民の健康寿命の向上に取り組もうとしている。	健康教室をイベント的な取組ではなく、 <u>継続的に実施したり、家庭でも取り組めたりする必要性を感じながら、自分ができていることを考えている。</u>

探究活動（単元）終了後に教員が評価して○を付けます。

単元の振り返り

健康教室において、高齢者の身体的特徴に考慮した安全なトレーニングを、トレーニングの効果を生むためには、継続的に実施できるようにすることが必要と伺いました。このことから、高齢者の方が、トレーニングを継続的に実施できるように、行政や医療の方と連携して、今後も高齢者の健康寿命を延ばすために貢献したいと思いました。	単元の振り返りとして、教員が評価をしたものを返却後に生徒が記入します。
--	-------------------------------------

※この記載例は、国立教育政策研究所、「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 高等学校 総合的な探究の時間、p50-58（令和3年8月）を基に作成した。

【別紙6 「総合的な探究の時間」に関するアンケート その1（育成を目指す三つの資質・能力に関する調査）】

「総合的な探究の時間」に関するアンケート その1

実施（ ）月

（ ）年（ ）組（ ）番

※ 本校の「総合的な探究の時間」の中で身に付いたと感じる資質・能力について、当てはまる選択肢の数字一つに○を付け、その理由を書いてください。

<選択肢>

1 当てはまらない 2 どちらかというと当てはまらない 3 どちらともいえない 4 どちらかというと当てはまる 5 当てはまる

番	質問項目	回答選択肢					回答した理由を書いてください
		×	←	△	→	○	
1	日常におけるさまざまな課題には、複数の要因や背景が関係していることに気付くようになりましたか。	1	2	3	4	5	
2	課題を解決するための手順を身に付けて、さまざまな場面や状況に対しても活用できるようになりましたか。	1	2	3	4	5	
3	探究することの意義や価値を感じ、より探究を自律的に進めることができるようになりましたか。	1	2	3	4	5	
4	さまざまな状況の中から課題を設定し、課題の解決に向け見通しをもって計画的に取り組むことができるようになりましたか。	1	2	3	4	5	
5	課題の解決に向け、解決の過程や結果を見通すことで、必要な情報の収集ができるようになりましたか。	1	2	3	4	5	
6	課題の解決に向け、収集した情報から必要なものを取り出したり、複数の情報を組み合わせて新しい関係を見いだしたりできるようになりましたか。	1	2	3	4	5	
7	自分の考えをまとめたり、他者に伝えたりする活動を通して、課題や自分自身の理解が深まることにつながりましたか。	1	2	3	4	5	
8	自分の個性や特徴に向き合おうとしたり、他者の異なる多様な意見を受け入れ尊重しようとするようになりましたか。	1	2	3	4	5	
9	課題に対し自分の意思で向き合ったり、自他のよさを認めながら他者と協働して探究に取り組もうとしたりするようになりましたか。	1	2	3	4	5	
10	自己の在り方・生き方を考えながら、将来社会の理想を実現しよう、社会の形成者としての自覚をもって、貢献しようとするようになりましたか。	1	2	3	4	5	

「総合的な探究の時間」に関するアンケート その2

実施（ ）月

（ ）年（ ）組（ ）番

※以下に日常生活で出合うさまざまな行為、行動があげられています。あなたはそれらの行動をどの程度うまくやれると思いますか。当てはまる選択肢の数字一つに○をつけてください。あまり考えすぎずに、気軽に答えてください。

<選択肢>

- 1 うまくやれないと思う
- 2 たぶんうまくやれないと思う
- 3 どちらかといえば、うまくやれないと思う
- 4 どちらともいえない
- 5 どちらかといえば、うまくやれると思う
- 6 たぶんうまくやれると思う
- 7 うまくやれると思う

番	質問項目	回答選択肢						
		やれない←						→やれる
1	何の役に立つか分からないことでも、興味を感じたらやってみること	1	2	3	4	5	6	7
2	困難な状況でも粘り強く取り組むこと	1	2	3	4	5	6	7
3	困難にぶつかったとき、新しい手段や方法を見つけること	1	2	3	4	5	6	7
4	何かに取りかかるとき、「自分次第できっとできる」と考えること	1	2	3	4	5	6	7
5	やりたいことであれば、失敗する可能性があっても挑戦を始めること	1	2	3	4	5	6	7
6	初めて出会った人から、自分が興味をもっている話を聞きだすこと	1	2	3	4	5	6	7
7	身の回りの出来事や自分の体験を組み込んで、現状の知識を更に広げること	1	2	3	4	5	6	7
8	苦勞すると分かっていることでも、やり通すと決心すること	1	2	3	4	5	6	7
9	ふだんのやり方ではできない場合に、やり方を工夫すること	1	2	3	4	5	6	7
10	新たな挑戦をするとき、「きっといつかは達成できる」と考えること	1	2	3	4	5	6	7

<裏面に続きます>

番	質問項目	回答選択肢						
		やれない←			→やれる			
11	「悩んで動かないよりも、動き始める方が大事だ」と自分に思い込ませること	1	2	3	4	5	6	7
12	立場や考え方の違う人と積極的につながりをもつこと	1	2	3	4	5	6	7
13	新しい体験ができるチャンスを見つけ、積極的に関わること	1	2	3	4	5	6	7
14	問題にぶつかったとき、そこから逃げたいという気持ちを抑えること	1	2	3	4	5	6	7
15	自分のおかれている状況を変えたいとき、その状況にうまく働きかけること	1	2	3	4	5	6	7
16	どんなときでも前向きな気持ちを持ち続けること	1	2	3	4	5	6	7
17	何かをしようとするとき不安に感じることであっても、それに取り組むこと	1	2	3	4	5	6	7
18	知り合いが少ない会に気軽に参加すること	1	2	3	4	5	6	7
19	今の自分の関心にとどまらず、いろいろなものに関心を広げること	1	2	3	4	5	6	7
20	面倒に思っても、途中で物事を投げ出さないこと	1	2	3	4	5	6	7
21	自分がより成長できる状況をつくりだすこと	1	2	3	4	5	6	7
22	困難なことに直面したとき、「この出来事には対処することができる」と自分に思わせること	1	2	3	4	5	6	7
23	経験のない新しいことであっても、取り組んでみる	1	2	3	4	5	6	7
24	あまり親しくない人に、依頼やお願いをすること	1	2	3	4	5	6	7
25	自分がやってみたいことを教えてくれる場所や人を探すこと	1	2	3	4	5	6	7
26	嫌なことでも何とかやり遂げること	1	2	3	4	5	6	7
27	物事をうまく進めるために、自分の考え方を変えること	1	2	3	4	5	6	7
28	現状がうまくいっていないとき、「うまくいく方法はいずれ見つかるはずだ」と考えること	1	2	3	4	5	6	7
29	うまくいかどうか分からなくても、とりあえず始めること	1	2	3	4	5	6	7
30	親密さの程度に関わりなく、幅広く他者とのつながりを維持すること	1	2	3	4	5	6	7

<アンケートは以上です>

【別紙7 「総合的な探究の時間」に関するアンケート その2（境遇活用スキル（CPFOST）調査）】

<備考>

- ・原典 Planned Happenstance理論を背景とした境遇活用スキルの測定, 浦上昌則・高綱睦美・杉本英晴・矢崎裕美子, 南山大学紀要『アカデミア』人文・自然科学編 第14号, 49-64, 2017年6月

- ・以下の記述及び質問番号の背景色は生徒アンケートには示していません。

計画された偶発性に関する五つのスキル+ α （人間関係）のスキル

背景色（緑色）	質問番号1, 7, 13, 19, 25	興味探索に関するスキル
背景色（空色）	質問番号2, 8, 14, 20, 26	継続に関するスキル
背景色（黄橙色）	質問番号3, 9, 15, 21, 27	変化に関するスキル
背景色（紫色）	質問番号4, 10, 16, 22, 28	楽観に関するスキル
背景色（赤橙色）	質問番号5, 11, 17, 23, 29	開始に関するスキル
背景色（薄黄色）	質問番号6, 12, 18, 24, 30	紐帯に関するスキル